

平成25年5月28日

報道関係者 各位

平成25年度 島原子ども狂言ワークショップ公開講座

‘ふれてみよう！わかりやすい狂言の世界’

島原子ども狂言ワークショップは、今年は記念すべき10周年をむかえます。

10月19日の島原城薪能では、記念舞台公演を開催することになりました。

このワークショップで10年間講師としてご活躍いただいている、和泉流狂言方・野村万禄先生による、特別公開講座を開催します。みなさまぜひご参加ください。

「太郎冠者あるか」「かしこまってござる」などの言葉を聞いたことはありませんか？これは狂言の中でよく使われるセリフです。なんだかおもしろそうですね。狂言は能とともに日本の伝統演劇です。600年も昔から、人々の生活を楽しくあらわしている舞台です。島原でも江戸時代、島原城には能舞台があり、武士から庶民まで能や狂言を楽しんでいました。この狂言の世界を、和泉流狂言方の野村万禄さんに、解説をしていただきながら、わかりやすくご紹介したいと思います。どなたでも参加できますので、ぜひお気軽にご参加ください。

記

日時：5月29日（水）

午後7時～7時35分＜狂言の鑑賞とお話＞

午後7時35分～8時＜小謡の公開練習＞

講師：野村万禄（和泉流狂言方）

会場：島原文化会館中ホール

主催：島原市・島原市教育委員会・島原文化会館

協力：島原城薪能振興会・島原子ども狂言協力会・

島原子ども狂言ボランティアスタッフ

＜講師紹介＞

1966年、故六世野村万蔵（芸術院会員・人間国宝）の孫として東京に生まれる。1990年東京芸術大学音楽学部邦楽科能楽専攻卒業。現在は伯父の初世野村萬（人間国宝）に師事している。1997年に福岡に居を移し、狂言の普及活動に努めている。

ワークショップによる演劇人の指導や、小中学校の狂言クラブへの指導の他、福岡にある「萬狂言・九州」の稽古場を、一般の方や子ども達に広く開放している。重要無形文化財総合指定保持者。2004年より島原子ども狂言の講師を務め、狂言を通して、島原の子ども達への能楽の伝承に力を注いでいる。



有明海にひらく湧水あふれる
火山と歴史の田園都市 島原

担当：文化スポーツ・振興グループ

林田 崇

電話：0957-68-5474（内線 662）

E-mail：t-hayashida@city.shimabara.lg.jp